

デジタルで今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち—
計画期間：2026–2029(令和8–11年度)

大津町 DX推進計画

目次 CONTENTS

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	計画策定の趣旨・上位計画との関係・国の最新動向	
2	D Xとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	地方創生2.0基本構想・・・・・・・・・・	5
4	社会動向：人口・・・・・・・・・・	7
5	社会動向：経済・・・・・・・・・・	8
6	デジタル機器 SNSの利用・・・・・・・・	9
7	基本方針・・・・・・・・・・	10
8	地域D Xと行政D X・・・・・・・・・・	11
9	D Xが進むことで見える大津町の未来ビジョン・・・・・・・・	12
10	計画の位置づけ、期間・・・・・・・・・・	13
11	町のD X推進体制・・・・・・・・・・	14
12	計画推進の進捗管理・・・・・・・・・・	15
	用語集・・・・・・・・・・	16
	※別冊：アクションプラン	

1 はじめに

計画策定の趣旨 デジタルを取り巻く動向

近年、スマートフォンやクラウドサービスの普及により、住民や事業者が行政サービスへアクセスする方法は大きく変化しています。AIやデータ利活用の進展により、行政・民間・教育などあらゆる分野でデジタル技術の活用が加速しており、自治体においても変革のスピードが求められています。

本町では第一次大津町DX推進計画に基づき、行政デジタル化の基盤整備を進めてきました。その中で、設定されたアクションプランは51施策中34施策が目標を達成しましたが、基幹系情報システムの標準化が未完了であることや、手続きのオンライン完結件数が18件に留まっているなど、次期計画へ引き継ぐ課題も残っており、まだ十分とは言えません。

こうした成果と課題を踏まえ、本計画では、これまで実施してきた基盤整備を引き続き実施しながら、住民サービスの向上、地域課題の解決、業務改善につながる取組を着実に進めます。具体的な事業は別冊『アクションプラン』に整理し、毎年度見直しを行いながら実効性を高めます。大津町第7次振興総合計画が掲げる将来ビジョン「今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち 大津」の実現に向け、スローガン「デジタルで今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち～デジタルIM0バージョン0ZU～」のもと、行政DXと地域DXを一体的に推進します。

本計画は令和8年度から令和11年度（2026～2029年度）の4年間を対象に、町が目指す姿、重点領域、推進体制および進捗管理の考え方を示すものです。具体的な事業は別冊「アクションプラン」として整理し、毎年度の見直しにより実効性の高い計画運用を図ります。

2 DXとはー

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、デジタルと、変革を表す「トランスフォーメーション」を合わせた言葉で、2004年、スウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱した概念です。その内容は「テクノロジーの浸透が人々の生活をあらゆる面で豊かにしていく」というものでした。しかし、町などの自治体が行うDXは「行政や地域、社会などにおいて、デジタル技術を活用して、新しい価値や仕組みを生み出すために変化する過程」と捉えられています。ここで大事なのは、デジタル技術を活用することではなく、新しい価値を生み出すことです。デジタル技術を導入することが目的ではなく、デジタル技術の活用という手段を用いながら、より良い仕組みを作ることが、DXの趣旨であると考えられます。

3 地方創生2.0基本構想

現在、地方を中心に、人口減少・少子高齢化、過疎化・東京圏への一極集中、地域産業の空洞化といった課題に直面しています。デジタル技術が急速に発展する中、AI・デジタルなどの新技術の徹底活用により、地方における社会課題解決と経済成長の両立が求められています。

地方創生2.0基本構想とは、人口減少・少子高齢化、過疎化と東京圏への一極集中、地域産業の空洞化といった構造的課題を正面から受け止め、今後10年間の地方創生の方向性を示すものです。令和7年（2025年）6月13日に閣議決定されたこの基本構想では、「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤のもとで「新しい日本・楽しい日本」を創ることを目指す姿として掲げ、「人口が減っても稼ぐ力を持つ地方経済の創生」「地方から国全体へのボトムアップ成長の実現」が方向性として示されています。施策は、①安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生、②稼ぐ力を高める付加価値創出型の地方経済の創生、③人や企業の地方分散、④AI・デジタルなど新時代のインフラ整備と新技術の徹底活用、⑤広域リージョン連携の5本柱で展開されます。

大津町は、この地方創生2.0基本構想を踏まえつつ、国と連携しながら、自主的・主体的にデジタル実装を推進し、「誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指します。

安心して暮らせる 生活環境



付加価値を高める 地方経済



人や企業の地方分散



AI・デジタルの 新時代インフラ



広域リージョン連携



地方創生2.0(概要)

【地方創生をめぐる現状認識】

1 デジタル基盤の整備

3 地方創生をめぐる社会情勢の変化

- 厳しさ
 - ・地方の人手不足の一層の進行
 - ・若者や女性の地方離れ など
- 追い風
 - ・インバウンドの増加
 - ・リモートワークの普及
 - ・AI・デジタルなどの急速な進化・発展 など

2 地域経済の状況

4 これまでの地方創生 10年の成果と反省

- 成果
 - ・人口減少問題への対処開始、地方移住への関心の高まりなど
- 反省
 - ・人口減少を受け止めた上での対応、若者や女性の流出要因のリーチ、国と地方の役割の検討（人手不足と東京への集中）、地方のステークホルダーが一体となった取り組みの不足 など

【地方創生2.0の起動】

目指す姿

=「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤を支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創る

①「強い」経済

- ・自律的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出

就業者1人当たり年間付加価値労働生産性を東京圏と同水準に

など3つの目標

②「豊かな」生活環境

- ・生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出

地域の買い物環境の維持・向上を図る市町村の割合を10割に

など5つの目標

③「新しい日本・楽しい日本」

- ・若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出

魅力的な環境整備により、地方への若者の流れを2倍に

など3つの目標

目指す姿を定量的に提示

関係人口を実人数1,000万人、延べ人数1億人創出

AIやデジタルを活用し、地域課題の解決を図る市町村の割合を10割に

など3つの目標

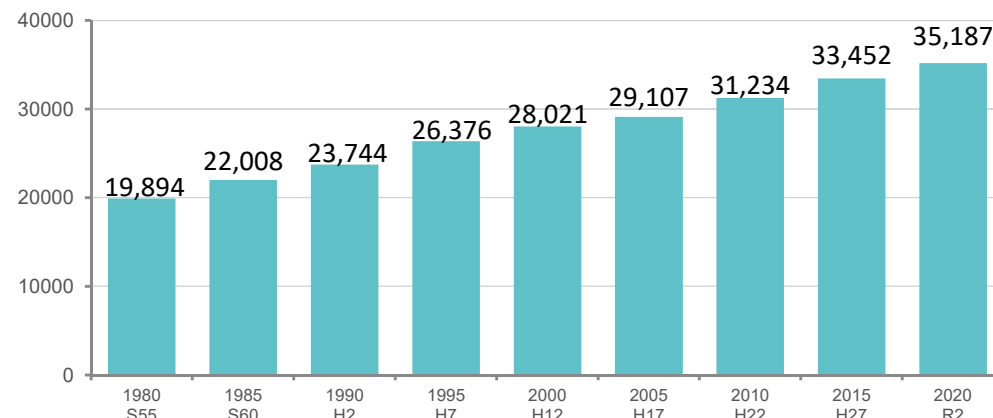
4 社会情勢：人口

■ 40年間の増加と2023年の転換

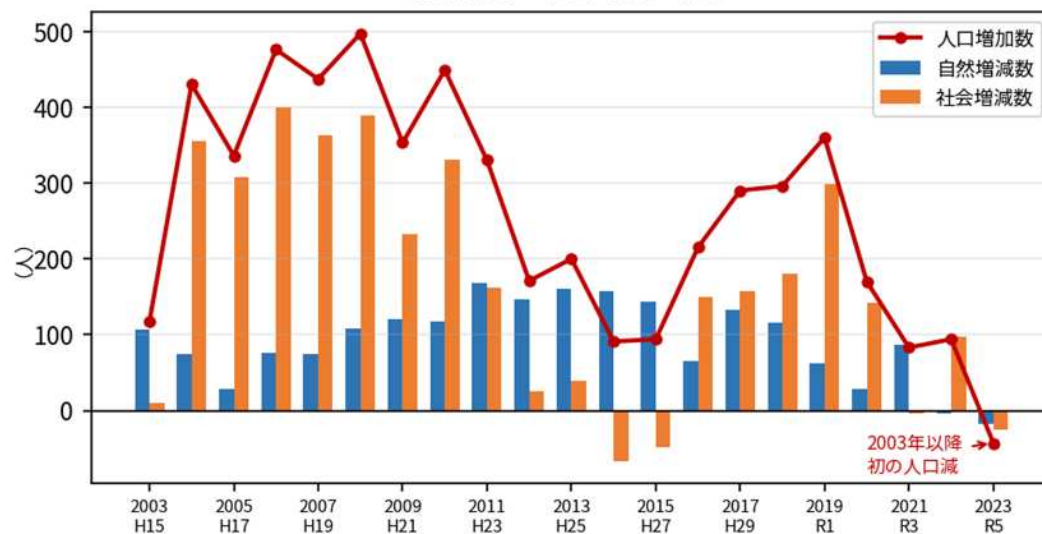
本町の総人口は1980年以降40年間一貫して増加し、2020年国勢調査で35,187人、2024年1月1日現在の住民基本台帳人口で36,013人となりました。1980年を100とした人口指数は177に達し、熊本県・全国の103を大きく上回る成長を続けてきました。

しかし、2023年は自然増減・社会増減が2003年以降初めて同時にマイナスとなり、転出者数も過去最多の2,223人を記録し、初の人口減少に転じました。DX計画では、一時的変動による転出超過、恒常化の両面を見据える必要があります。

総人口の推移

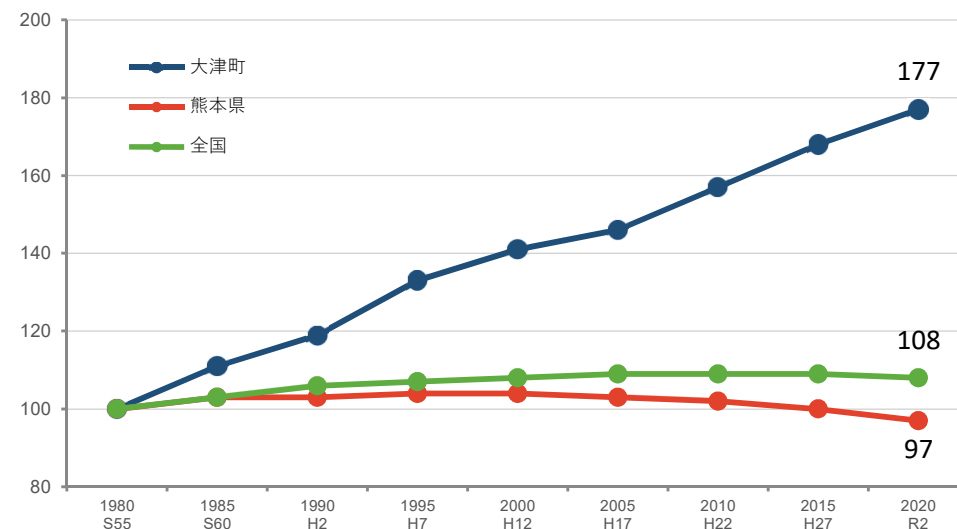


自然増減・社会増減の推移



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

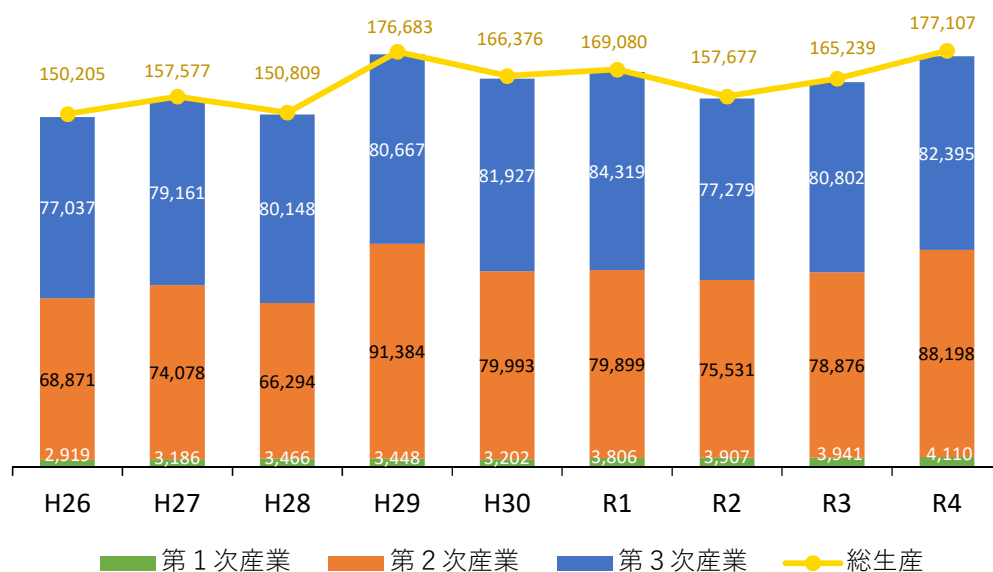
総人口指数の推移（1980年 = 100）



5 社会情勢：経済

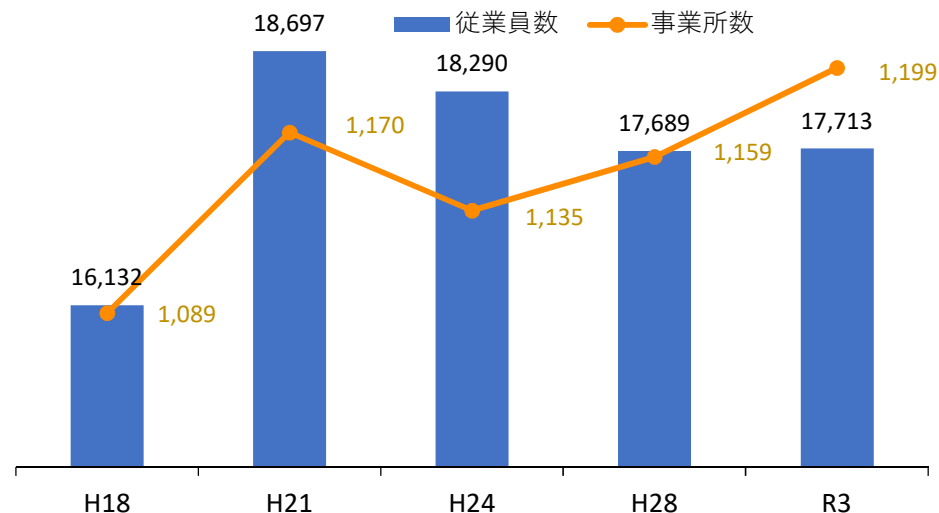
本町は、総生産の割合は第2次産業と第3次産業がバランスよく推移しており、第1次産業も緩やかですが増加傾向にあります。その一方、総生産額については令和元年度の約1,690億円から、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は1,576億円まで落ち込みましたが、令和4年度には約1,771億円まで回復しています（出典：熊本市町村民経済計算、令和7年3月公表）。町内の事業所数と従業員数をみると、事業所数は増加傾向（令和3年：1,199事業所）ですが、従業員数は17,000人台で推移しています（出典：令和3年経済センサス活動調査）。一事業所当たりの従業員数が減少していることから、本町の更なる地域経済の活性化のためには、業務効率化などを進めることが求められています。

町内 産業別・総生産額（単位：百万円）



出典：熊本市町村民経済計算、令和7年3月公表

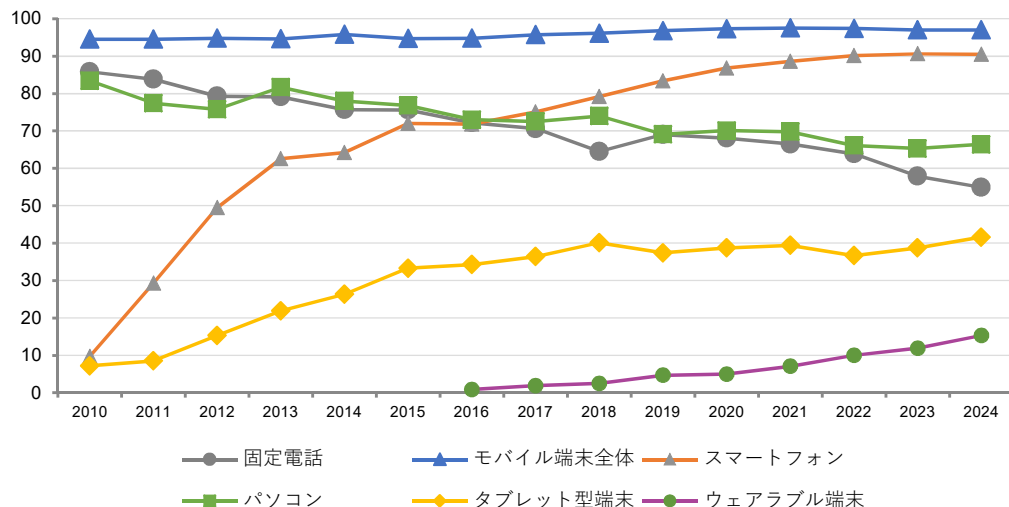
町内 事業所数・従業員数



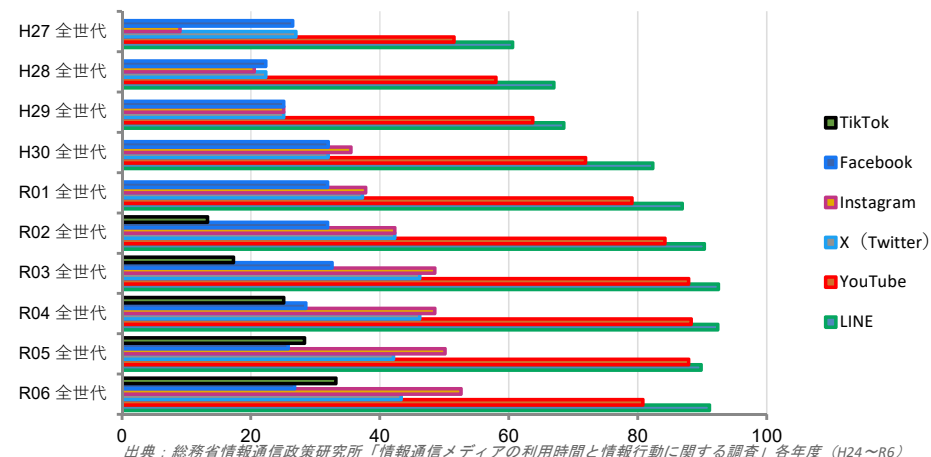
出典：令和3年経済センサス活動調査

6 デジタル機器 SNSの利用

情報通信機器の保有状況



【経年】主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率（全年代）



【令和6年度】主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率（全年代・年代別）

全年代 (N=1,800)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	男性	女性
LINE	91.1%	92.4%	97.5%	97.5%	95.7%	91.6%	88.5%	88.4%
X(Twitter)	43.3%	62.1%	78.0%	61.6%	48.7%	43.6%	22.1%	44.0%
Facebook	26.8%	13.6%	22.9%	39.2%	38.6%	32.1%	26.6%	29.1%
Instagram	52.6%	75.0%	78.0%	70.5%	67.0%	52.7%	34.7%	47.6%
YouTube	80.8%	95.7%	97.2%	97.9%	91.8%	83.0%	71.2%	83.6%

出典：通信利用動向調査

出典：令和6年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書（総務省情報通信政策研究所、2025年6月公表）

デジタル機器の保有率を2010年と2024年で比較してみると、スマートフォンは80.8ポイントの増加、パソコンは17.0ポイントの減少となっています。SNSの利用率は、InstagramやLINEの利用が引き続き高く、TikTokは若年層を中心に急速に普及しています。また年代により利用率の違いが見られますが、LINEは高い利用率と広い浸透が見られます。

7 基本方針(国の方針との整合)

第7次大津町振興総合計画 大津町の将来ビジョン

**今も未来もみんなが幸せであり
続けられるまち 大津**

本町でDXを推進していくために、中長期的な目指すべき姿（ビジョン）を見据えて取り組んでいくことが大切です。大津町第7次振興計画で掲げた将来ビジョン「今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち 大津」を実現するための手段としてDX推進計画の基本方針を定めます。

デジタルで今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち～デジタルIM0ベ－ション0ZU～

地域DX

行政DX

現状を踏まえたDX施策が必要

現在の社会情勢や国などの動向、デジタル機器の普及状況を踏まえると、行政サービス向上と地域のデジタル化の両方が求められています。本町のDXは、「地域DX」と「行政DX」を両輪として進め、大津町第7次振興総合計画で掲げる将来ビジョン「**今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち 大津**」の実現を目指します。そのため、住民生活への効果、業務改善の必要性、国の制度対応などを踏まえながら、重点的に進める分野を明確にし、計画的に推進します。

8

地域DXと行政DX

DX推進のために「地域DX」と「行政DX」に取り組みます。
本計画（2026-2029）では、住民利便性への効果が大きいもの、国の制度対応として必要なもの、全庁的な基盤となるものを中心に、3つの視点で施策を整理します。

大津町DX推進計画

地域DX

行政DX

1 デジタルを身近に感じる

町民が使いやすいサービスへ

- ・「書かない」窓口
- ・オンライン申請の拡充
- ・郵送請求オンライン化
- ・コンビニ交付サービス拡充

生活・手続の利便性向上

2 デジタルで地域を元気に

地域活動・防災・産業・観光へ

- ・スマート農業支援
- ・地域活動でのICT活用
- ・町民向け情報発信
- ・防災情報発信の多重化
- ・事業者DX推進支援

地域課題解決と活力向上

3 デジタルで業務を効率化

庁内業務を見直し、サービス向上へ

- ・文書管理・電子決裁
- ・職員のデジタル活用力向上
- ・全庁BPRとDX推進体制
- ・生成AI・EBPM推進
- ・収納業務の効率化

業務改善と行政サービス向上

共通視点 安心してデジタルを使える環境づくり

セキュリティ対策／デジタルデバйд対策／人材育成／毎年度の進捗確認・見直し

9 DXが進むことで 見える大津町の未来ビジョン

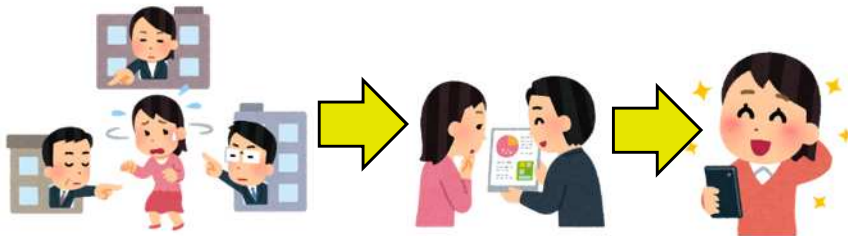
地域DX

様々なものにデジタル
技術を導入し、
住民の利便性を向上



(例)「書かない役場」、「行かない役場」の実現

「役場で簡単にできる」から「役場に行かなくてもできる」を目標に、
手続をデジタル化します



面倒な手続きも「窓口のタブレットで簡単に手続き」に
そして「家でスマホでできる」に

町と地域が連携して推進

地域の様々な主体におけるDXの推進

- ・ DXを通じて付加価値を高め「稼ぐ」力を向上
- ・ 地域社会を担う主体の一つとして、人材、資金、ノウハウ等を活かし、地方創生に貢献
- ・ 官民が連携して地域づくりやまちづくりに取り組み、地域課題を解決

大津町DX

BIG DATA



データが連携できる基盤を整備



様々なものがデジタルにつながり、
町民の生活の質が向上する
「society5.0」

住民の生活を
守り、便利に

大津町DX推進計画

行政DX



安全で安定、便利なシステム運用環境を実現

(例) 業務改善とデジタル活用

ペーパーレスやアナログ業務をデジタル化することで業務効率化や
職場環境改善へ



移動できる端末でどこでも
(オンライン) 会議ができる



電子決裁や
デジタル化で
ペーパーレス・
職場環境改善

町と国・県が連携して推進

国・県におけるDXの推進

国の役割

- ・ 人材支援・人材育成
- ・ 規制・制度改革
- ・ 財政・金融による支援
- ・ 災害時の情報共有

県の役割

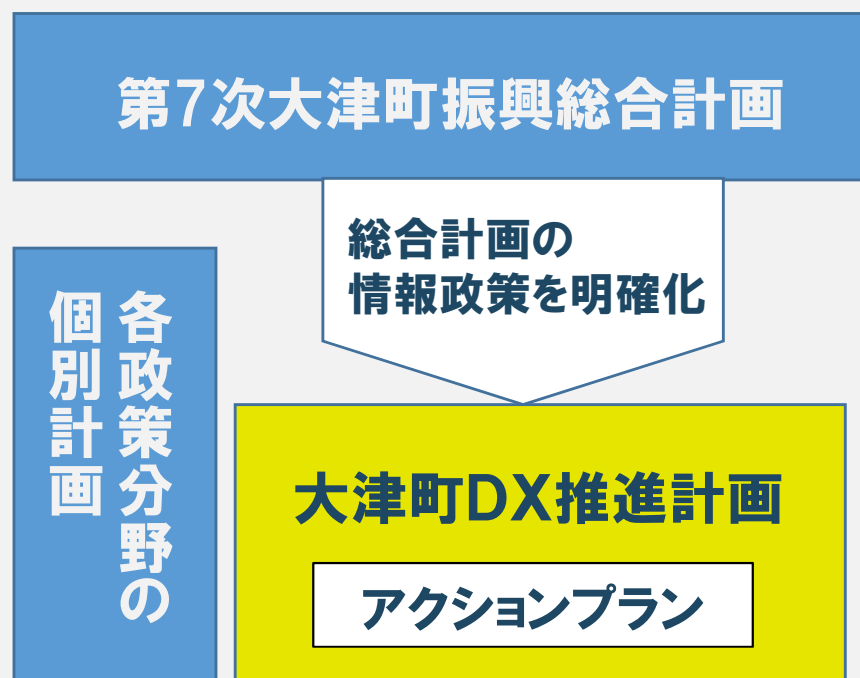
- ・ 市町村間連携の枠組み提示
- ・ 市町村を補完する支援体制構築
- ・ 国の政策・制度の伝達・展開
- ・ 避難所運営におけるDXの推進

10 計画の 位置づけ 期間

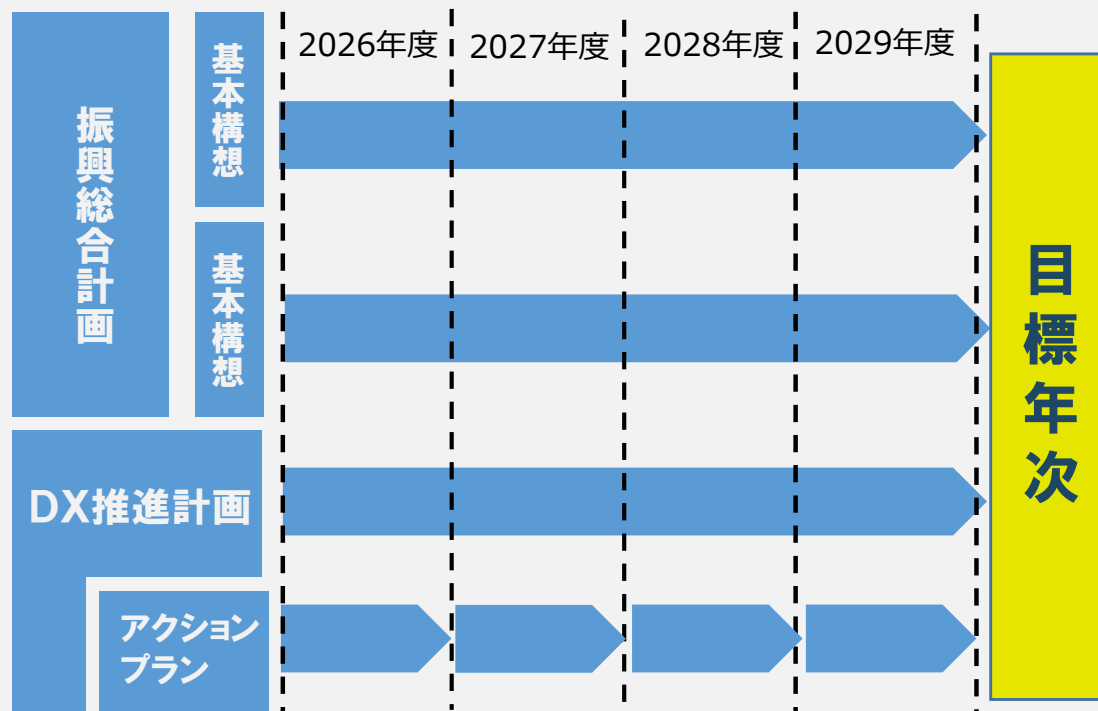
大津町は、「第7次大津町振興総合計画」を策定し、将来ビジョン「今も未来もみんなが幸せであり続けられるまち 大津」の実現を目指しています。振興総合計画は、本町のまちづくりの最上位計画であり、DX推進計画を含む、各政策分野の個別計画は、振興総合計画が示す政策・施策等の考え方を的確に反映する必要があります。DX推進計画は、デジタル化に関する施策や将来像を明確化することを目的としています。

計画の期間は、2026-2029（令和8-11年度）とし、実施計画（アクションプラン）については、国の動向や技術の進展等を踏まえながら、毎年度見直しを行い、特に重点施策や進捗に課題のある施策については、年度ごとの到達点を確認しながら進行管理を行います。

計画の位置づけ



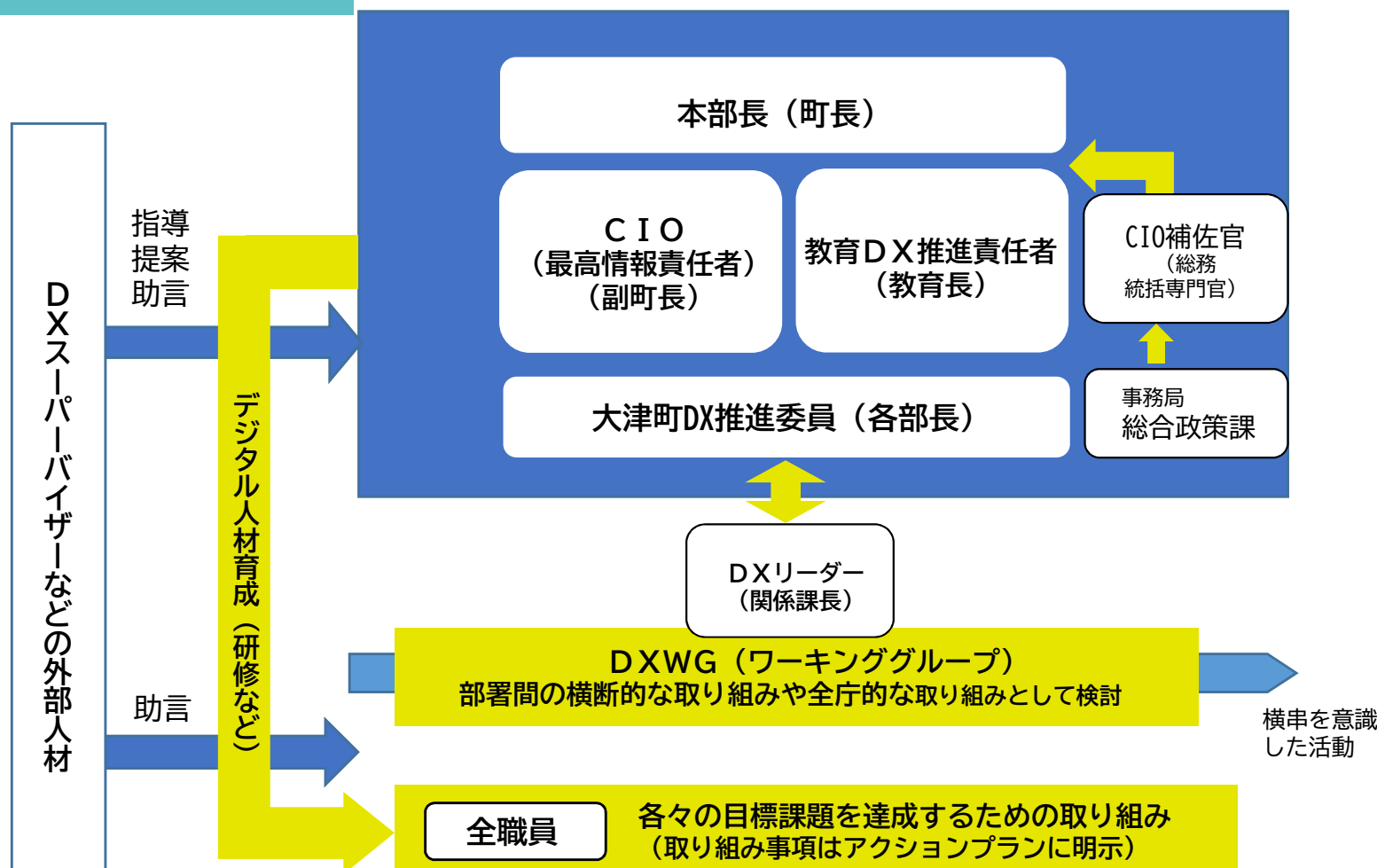
計画の期間



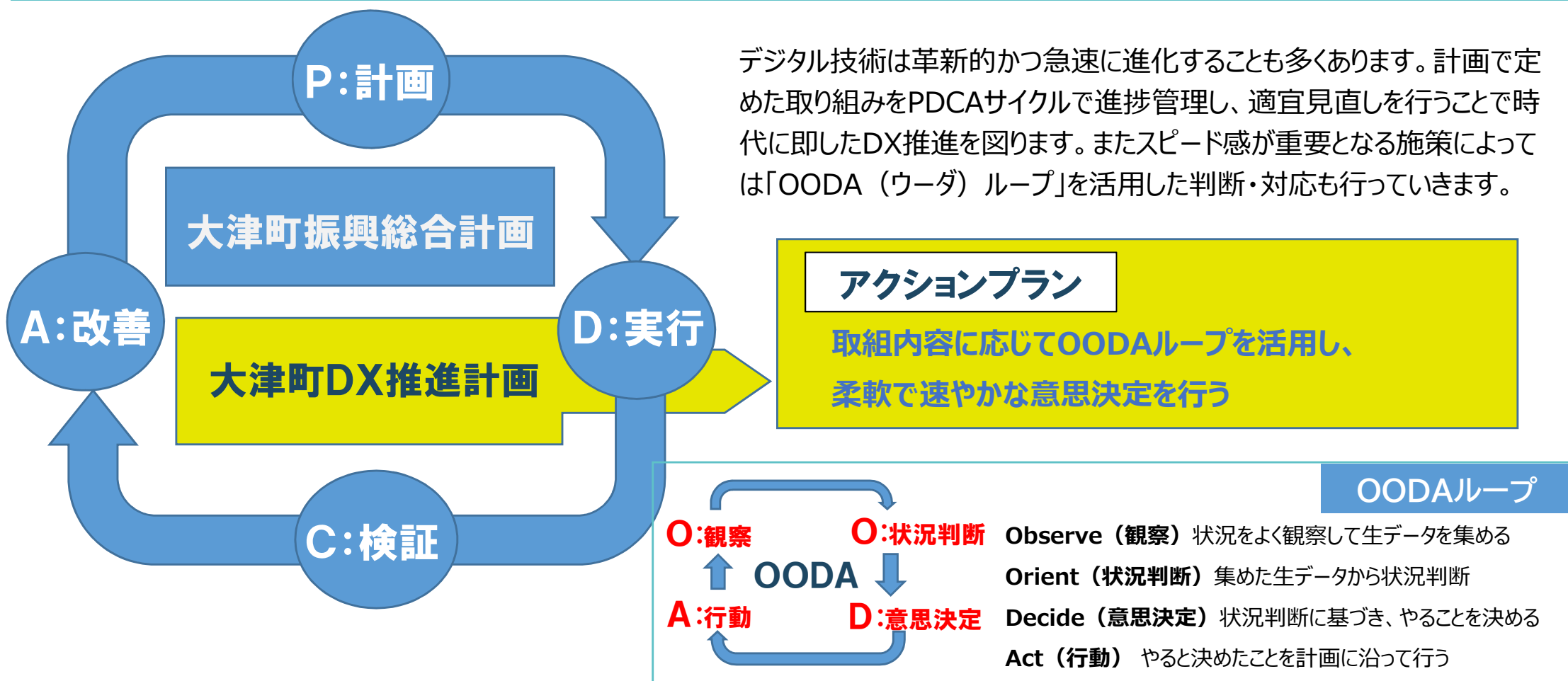
11 町のDX推進体制

本計画に基づいて、DXを推進するにあたり、全庁的・横断的に推進することが重要であることから、町長、副町長、教育長、管理職で構成する「大津町DX推進本部」を設置し、各種取組の推進及び進捗管理を実施します。

DX推進本部は、重点施策及び進捗に課題のある施策について、年度ごとに進捗状況を確認し、必要な見直し方針を決定します。DXリーダーは、各課における施策の進捗確認、課題整理、関係課との調整を担います。DXWG（ワーキンググループ）は、全庁横断的な課題や共通テーマについて、具体的な改善案を検討する場とします。



12 計画推進の進捗管理



進捗管理の考え方

本計画の進捗管理は、別冊アクションプランに基づき、毎年度実施します。進捗確認に当たっては、各施策の到達状況、課題、次年度の対応を整理し、重点施策や進捗に課題のある施策については特に重点的に確認します。また、社会情勢や国の制度改正、技術動向の変化を踏まえ、必要に応じてアクションプランの内容を見直します。また、施策の推進に当たっては、有利な財源を活用し、効果的な事業実施を図ります。

用語集

- **DX(デジタル変革)**…デジタルで仕事やサービスの進め方を見直し、便利にする取り組み
- **行政DX**…役場の仕事を見直し、手続を早く・正確にし、相談や支援に時間を使える状態
- **地域DX**…住民の暮らしや地域経済(観光・商工業など)をデジタルで良くする取り組み
- **窓口DX**…「書かない・行かない」を目指し、事前入力・予約・オンライン等で負担を減らす
- **オンライン申請(電子申請)**…スマホ等で手続できる仕組み(来庁や紙を減らす)
- **支援付きオンライン**…オンライン手続が不安な人に、窓口・電話等で一緒に進める支援
- **デジタルデバйд**…使える人と使いにくい人の差(相談・支援で埋める)
- **KPI(成果指標)**…取り組みの成果や進捗が見える化する指標(例:オンライン完結率、満足度など)
- **デジタルID(マイナンバーカード等)**…本人確認に使う「デジタルの身分証」

- **マイナポータル**…国のオンライン窓口(手続・お知らせ等)
- **公的個人認証(JPKI)**…カードで本人確認や電子署名を行う仕組み
- **標準化／標準準拠システム**…国の標準仕様に合わせた基幹システム(自治体間の共通化)
- **ガバメントクラウド**…国が選定する安全なクラウド環境を活用してシステムを運用
- **ベース・レジストリ**…住所等の基礎データを共通参照できる仕組み(入力削減につながる)
- **データ連携**…複数のシステム間で情報をつなぐこと(書類・再説明の削減につながる)
- **BPR(業務の見直し)**…ムダな手順を減らし、仕事の流れをより良くすること
- **セキュリティ(サイバー対策)**…不正アクセスや情報漏えいから守る仕組み・運用

※スマホ／SNSなど、日常で一般的に浸透した用語は割愛しています。

**デジタルで今も未来も
みんなが幸せであり続けられるまちー**



令和8年(2026年)

大津町役場 総合政策課

熊本県菊池郡大津町大字大津1233

電話:096-293-3118